



備前島久仁子

### 「居場所づくり」には どこまで行政が関わるのか

町 各区で居場所づくりができるよう  
開設支援20万円を補助していきたい

**Q** ふれあいの居場所づくりフォーラムには、たくさんの方が集まった。高齢化が進み、地域コミュニティが薄くなる中で、今後地域の公民館を利用した居場所づくりが必要ではないか。

**町** ターの建てかえは決まった。ふれあい教室・通級教室は狭くて、個室の指導室もない。5年後の増設では遅いのではないか。

**Q** 総合運動公園の遊具は老朽化し、虹のせせらぎ広場も水遊びができない状態になっている。子どもが伸び伸び遊べる環境整備が必要だ。

**Q** 水辺の森で、水遊びができるようにならないか。

**町** 今年度、7カ所の「ふれあいの居場所」ができる。今後、各行政区にできるよう開設に伴う支援として、上限20万円の「ふれあいの居場所づくり事業補助金交付要綱」を施行した。

**町** 現在も3名が住んでいるため、時間がかかる計画となっている。今後、この敷地も公共用地として活用できるような方策を考えたい。

**町** 老朽化した施設を徐々に改修していくので、遊具も検討する。

**町** 水辺の森は、農業用排水路を利用しているため、水量の調整ができない。「入らないで」と看板を立てている。

**Q** 役場周辺地区の高度利用計画は、まず障害者福祉と教育施設を優先すべきである。障害者福祉センター

**Q** 今後予定されている総合福祉施設は、役場の西にある駐車場敷地が最適な場所と考えるが。

**町** 多方面から検討する。



定期的集い、交流している「居場所ふれんど」の皆さん



原 秀 夫

### 「魅力ある玉村町」を形成し 定住促進にふさわしいまちづくりを

町 文化センター周辺地区を整備し  
魅力あるまち並みの形成を図っていく

**Q** 今後推測される人口減少には、早急な対策が必要だ。町は、定住促進にどのように取り組むのか。

**町** 文化センター周辺地区に、1区画70坪程度のゆとりある宅地を供給する予定である。

**Q** 町では、勤労者住宅資金の融資金限度額を300万円と定めている。近隣と比較し、相応であるか。

**町** 地域包括ケアシステムの具体的な支援は、

**Q** どのような世代が対象なのか。

**町** この地区の周辺には小学校・児童館・小児科医院などがあり、子育て世代をターゲットにしている。

**町** 高崎市1000万円・伊勢崎市200万円・藤岡市750万円となっており、当町ではここ数年申込者が少ない。今後、他市町村の動向や町内金融機関の制度等を参考に、

**町** 地域の積極的な協力が必要である。高齢者が地域活動の担い手になることにより生きがいを見出し、介護予防や健康寿命の延伸を図る。また、認知症など高齢者の病気を正しく理解し、正しい対応を学ぶことで、安心して暮らせる地域になると考える。子どもたちと交流を図りながら、高齢者を大切にすることを育てていきたい。

**町** どのような住宅地にする計画なのか。宣伝や販売方法は。



文化センター周辺地区

勤労者住宅資金を見直す。

町 25区中20区で組織化され、組織率は89・3%となっている。地区防災計画を検討しながら、自助・共助・公助の役割分担を明確にし、連携を強化していく。今後も継続的な活動ができるよう支援していきたいと考えている。

### 災害時の情報発信と 自主防災組織の充実を求む

町 情報発信・受信機能を強化する  
また、地域に合った避難計画を作成する



三友美恵子

**Q** 2月の大雪の反省点は何か。

**町** 災害警戒本部を15日早朝に立ち上げたが、情報収集ができなかった。町民に情報発信ができなかったことが、大きな課題である。

**Q** 災害時に町民へ情報を伝えることは大変重要であり、いくつかの情報発信手段が必要である。どのような手段を考えているか。

**町** 「メルたま」や町のホームページ、消防団や職員による広報がある。また、避難勧告や国民保護情報など緊急のものは、ドコモ・ソフトバンク・auの3社と契約し、ことし3月から玉村町エリアに配信できるようにしている。今後町民からも情報が得られるよう、ツイッターなどの利用も検討していきたい。

**Q** 各地域に合った避難計画を作成する必要があると思うが、どうか。

**町** 平成26年4月に「地区防災計画制度」が施行されたので、各地域の自主防

**Q** 自主防災組織の組織率の現状はどうなっているか。また、今後町とどのように連携していくか。

**町** 25区中20区で組織化され、組織率は89・3%となっている。地区防災計画を検討しながら、自助・共助・公助の役割分担を明確にし、連携を強化していく。今後も継続的な活動ができるよう支援していきたいと考えている。



自主防災活動（板井区）